

通り町遺跡 旭町遺跡

平成10・11年度県単街路事業（箕輪町仲町）に
伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書

2000年

長野県伊那建設事務所
上伊那郡箕輪町教育委員会

序

箕輪町の松島区には、王墓古墳を始め町を代表する遺跡が多く存在しており、先人たちの暮らしを始め、歴史と文化を今日に語りかけています。また、これらの文化遺産を、一つでも多く後世に伝えていくことが、今を生きる私たちの使命だと思います。しかし、開発の波により、遺跡が徐々に消滅していくことも、今日の情勢です。

今回の調査は、長野県伊那建設事務所の委託を受けて町教育委員会が平成10・11年に行った「県単街路事業（箕輪町仲町）」に伴う通り町遺跡、旭町遺跡の緊急発掘調査です。

内容につきましては、本書の中で詳細に記してあります。

最後になりましたが、今回の事業に際しまして、ご理解ご協力をいただきました松島区並びに地域住民の皆さまをはじめ、調査関係者の皆さま方に、本書の刊行をもちまして心から感謝申し上げます。

箕輪町教育委員会

教育長 大槻 武治

例言

- 1 本書は、平成10・11年度に実施した、長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪8,425番地1他に所在する、通り町遺跡・旭町遺跡の緊急発掘調査報告書である。
- 2 調査は、箕輪町教育委員会が長野県伊那建設事務所の委託を受けて行ったものである。
- 3 本書の作成にあたり、赤松 茂、根橋 とし子、宮下 容子が作業を分担した。
- 4 本書の執筆は、赤松 茂、根橋 とし子が行った。
- 5 本書の編集は、赤松 茂、根橋 とし子が行った。
- 6 出土遺物及び図版類は、すべて箕輪町教育委員会が保管している。
- 7 本調査の実施及び本書の作成にあたり、下記の機関並びに団体に協力いただいた。記して感謝申し上げます。

唐沢建設株式会社、浅川建設工業株式会社、仲町商店街

本文目次

序 例言

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1. 発掘調査に至る経過…………… 1 | 4. 通り町遺跡の調査結果…………… 5 |
| 2. 調査の概要…………… 2 | 5. 旭町遺跡の調査結果…………… 5 |
| 3. 歴史環境…………… 3 | 6. まとめ…………… 10 |

1. 発掘調査に至る経過

平成6～8年度に実施した箕輪町遺跡詳細分布調査の結果によると、上伊那郡箕輪町松島区に所在する通り町及び旭町の両遺跡は、町の周知の遺跡として天竜川西岸の低段丘上に広がる遺跡群の一つとして新たに加えられた。両遺跡を含むこの遺跡群は、現国道153号線沿いの周辺一帯に広がりを見せ、縄文時代から中・近世に至るまで幅広い時期に渡る複合遺跡であることがおおむね確認されている。

今回、長野県伊那建設事務所が行なう、県単街路事業（箕輪町仲町）に先立ち、平成8年度から同事務所と県教育委員会、町教育委員会との三者間で予測される埋蔵文化財の保護協議を再三行ってきた結果、事業実施が具体化した平成10年度に、同事務所より委託を受けた町教育委員会が主体となって、該当する両遺跡の発掘調査を実施する運びとなった。

なお、旭町遺跡については、継続して平成11年度工区においても第2次調査を行ない、試掘調査と工事立ち会いを実施し、それぞれ整理作業を行ない、平成12年3月をもって本書の刊行に至った。



第1図 調査位置図 (1:10,000)

2. 調査の概要

- 1 所在地 通り町遺跡—長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪8,425番地1他
旭町遺跡—長野県上伊那郡箕輪町大字中箕輪8,427番地11他
- 2 開発事業名 県単街路事業（箕輪町仲町）
- 3 調査委託者 長野県伊那建設事務所
- 4 調査主体者 箕輪町教育委員会
- 5 委託契約日 平成10年8月11日（変更委託契約日 平成11年1月20日） 平成11年6月1日
- 6 契約期間 平成10年8月11日～平成11年3月24日
平成11年6月1日～平成12年3月24日
- 7 事務局 教育長 藤沢健太郎（平成12年1月退任）
教育長 大槻 武治（平成12年1月就任）
参事 柴 登巳夫
主幹 原 省吾（平成11年4月より）
主幹 唐沢喜美子（平成11年3月まで）
副主幹 赤松 茂
主査 柴 秀綾
- 8 調査団 団長 藤沢健太郎（平成12年1月退任）
団長 大槻 武治（平成12年1月就任）
副団長 柴 登巳夫
担当者 赤松 茂
調査員 根橋とし子 福沢 幸一
団員 井沢はづき 泉沢徳三郎 市川 俊男 伊藤 裕康 井上 武雄
井上 隆次 遠藤 茂 片桐 勇 桑原 篤 後藤 主計
小松 峰人 田中 忠男 藤沢 具明 伯耆原 正 洞口 秋人
松田 貫一 宮下 容子 向山幸次郎 山田 武志

3. 調査日誌

- 平成10年9月28日 重機にて8・9トレンチを掘削する。断面測量を行ない、埋め戻しを行なう
- 10月6日 重機にて1～4トレンチを掘削する。
- 10月7日 トレンチの壁削りを行ない、断面測量をする。全体測量を終わる。
- 10月8日 ベンチマークの移動を行ない、重機にてトレンチの埋め戻しを行なう。
- 10月27日 重機にて10トレンチを掘削する。断面測量を行ない、埋め戻しを行なう。
- 平成11年3月2・3日 通り町遺跡において工事立ち会いを行う。
- 平成11年7月29日 重機にて5・6トレンチを掘削する。トレンチの埋め戻しを行なう。
- 8月6日 重機にて7トレンチを掘削する。トレンチの埋め戻しを行なう。
- 平成12年2月23・24日 旭町遺跡において工事立ち会いを行う。

4. 歴史環境

箕輪町は、東西の複合扇状地を流れる中小河川と段丘下の湧水など、水源には恵まれており、先史より人が暮らしやすい格好の場が多い。町内には先人たちが残した足跡ともいべき多くの遺跡が散在し、現在のところ包蔵地182箇所、古墳27基、城跡13箇所が確認され、上伊那郡下において屈指の遺跡地帯として知られている。

遺跡の多くは前述のとおり、段丘及び扇状地に立地しており、特に竜西の遺跡の分布状況は、2から3段になる段丘の突端部、中小河川の兩岸、山裾など、ほぼ3箇所のみられる。本年までに実施された発掘調査例を中心に概観してみると、縄文・弥生・古墳・奈良・平安の各時代の集落址や墓域を中心とした生活の痕跡、さらに町の南部の氾濫源に広がる箕輪遺跡に代表される、稲作の痕跡をみせる生産遺跡も確認されている。

今後、これらの遺跡を保護していくためにも、一帯における開発には十分注意をしていく必要がある。

第1表 周辺遺跡一覧表

| 遺跡番号 | 遺跡名 | 所在地 | 立地 | 時代 | | | | | | | 備考 | |
|------|----------|-----|------|----|---|---|---|---|---|---|----|---------------|
| | | | | 旧 | 縄 | 弥 | 古 | 奈 | 平 | 中 | | 近 |
| 75 | 通り | 松島 | 段丘突端 | | | | | | ○ | | | |
| 74 | 旭 | 松島 | 段丘突端 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | | | |
| 63 | 久保林 | 松島 | 扇状地 | | | | | | ○ | | | |
| 64 | 王墓 | 松島 | 段丘突端 | ○ | | ○ | | | | | | 一部長野県史跡 |
| 65 | 王墓付 | 松島 | 段丘突端 | ○ | | | | | ○ | | | |
| 66 | 白井 | 松島 | 段丘突端 | ○ | | | | | ○ | ○ | | |
| 67 | 本城 | 松島 | 段丘突端 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | | 平5・6・8・10発掘調査 |
| 68 | 中山 | 松島 | 段丘突端 | ○ | | | | | ○ | ○ | | 昭61・62発掘調査 |
| 69 | 藤山 | 松島 | 段丘突端 | ○ | | | | | | | | |
| 70 | 王墓北 | 松島 | 段丘突端 | ○ | | | | | | | | |
| 71 | 北町 | 松島 | 段丘突端 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | |
| 72 | 神社付 | 松島 | 平地 | ○ | ○ | | | | ○ | | | |
| 73 | 東町 | 松島 | 段丘突端 | ○ | ○ | ○ | | | ○ | ○ | ○ | |
| 76 | 仲町 | 松島 | 段丘突端 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | 平3・4・8・9発掘調査 |
| 77 | 南町 | 松島 | 段丘突端 | | ○ | ○ | | | ○ | ○ | | |
| 187 | 松島王墓古墳1号 | 松島 | 段丘突端 | | | | ○ | | | | | 長野県史跡 前方後円墳 |
| 188 | 松島王墓古墳2号 | 松島 | 段丘突端 | | | | ○ | | | | | 長野県史跡 |
| 189 | 仲町古墳 | 松島 | 段丘突端 | | | | ○ | | | | | 平3発掘調査 |



第2图 周边道路分布图 (1:10,000)

5. 通り町遺跡の調査結果

通り町遺跡の調査対象地は、現国道路線を含む仲町商店街の東側に隣接する、およそ570㎡以上の事業用地が範囲である（第3図）。試掘調査は、歩道に工事が計画される箇所に、本体工事に先行する下水道配管工事に並行して、その工区内に1×2mのトレンチ3ヵ所を設定して掘削し、遺構・遺物等の有無を確認すると共に、それらの保存状況の確認を目指した。

その結果、地表面より70～80cmの深さまでは、全体的に碎石等の人為的堆積土があり、第10トレンチでは部分的に水道管の埋設によるものと思われる攪乱層を確認している。第9トレンチでは、人為的堆積土の更に30～35cm下部より、炭化物と焼土を含む何らかの遺構の覆土、または遺物包含層と思われる褐色土層を検出した。遺物は検出されなかった。

また、調査範囲内全域に予測される人為的堆積土の崩落の危険性があり、周辺住民への安全管理が困難な場所であるため、今回の調査による遺跡の範囲確認を大きな成果とし、面的な発掘調査は行わないこととした（第6図）。

尚、工事立ち会いは、主に国道箇所路盤掘削時において実施した。結果としては、既に過去の路盤工事の際に掘削され、路面直下平均80～90cmの深さまで碎石を主とする人為的堆積層を確認した。試掘調査結果以上の攪乱が進み、遺構及び遺物の検出はなかった。

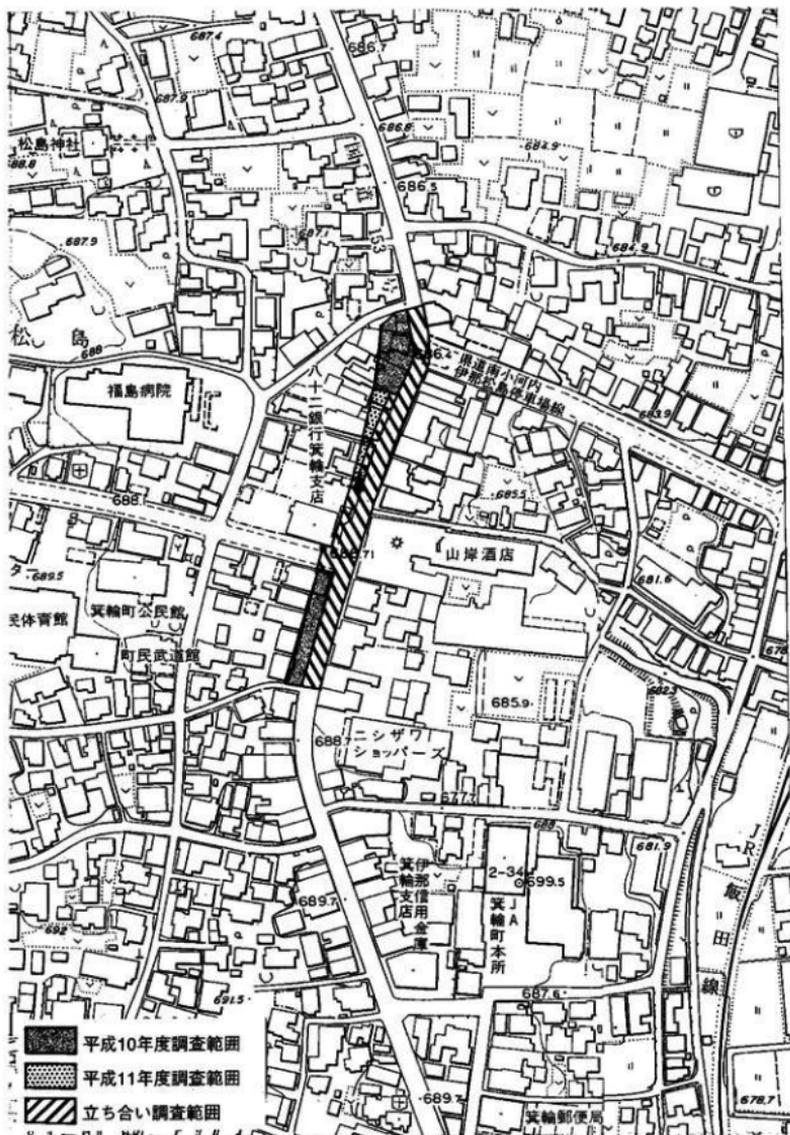
6. 旭町遺跡の調査結果

旭町遺跡の10年度の調査地は、通り町遺跡調査区から100mほど北方に位置し、新設の交差点計画箇所およそ600㎡以上の調査対象面積となる（第3図）。試掘調査は、3本の小トレンチと1本の大トレンチ設定による掘削を行い、通り町遺跡と同様に遺構・遺物等の有無を確認すると共に、それらの保存状況の確認を目指した。

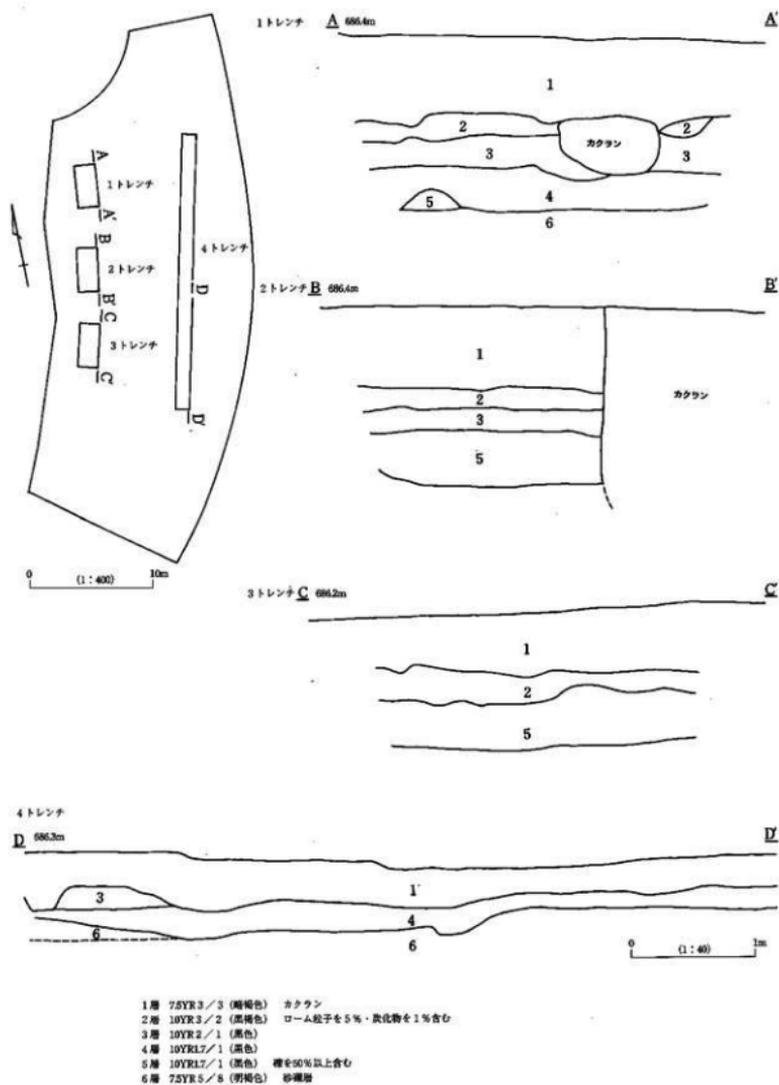
結果としては、部分的に攪乱による人為的堆積土がみられるが、地表面より20～30cm下部からはほぼ全域に共通して、黒色のシルトないし粘土層と砂礫層のみであり、遺構・遺物は検出できなかった（第4図）。これらの状況から、埋没した旧河川跡または湿地帯跡の可能性を示唆できよう。よって、本箇所においても面的な発掘調査は必要ないものと判断した。

また、11年度の調査地は、10年度調査箇所の南側、およそ200㎡以上の範囲を対象とし、先行する下水道配管工事に伴って試掘調査を行った。（第3図）。調査は、前年と同じく、その工区内に1×2mのトレンチ3ヵ所を設定して掘削した。

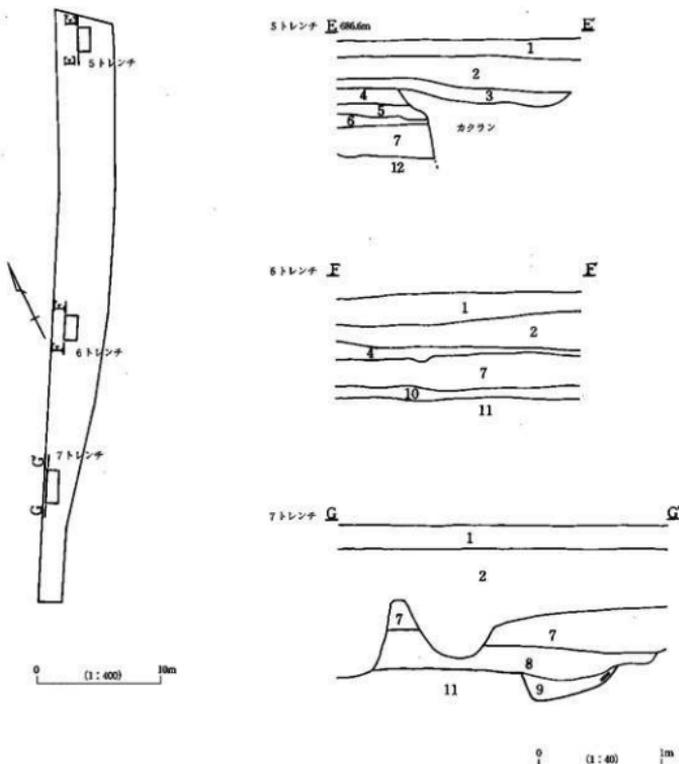
その結果、地表面より40～70cmの深さまで、全体的に碎石等の人為的堆積土があり、第7トレンチでは部分的に水道管の埋設によるものと思われる攪乱層を確認している。第5トレンチは、人為的堆積土の下部は灰褐色の砂礫層と粘土層のみであり、前年調査を行なった旭町に隣接する区間であるため、やはり湿地帯跡の可能性が大きい。第9トレンチでは、人為的堆積土の更に30～35cm下部に、炭化物と焼土を含む褐色土層を覆土とする住居址と土坑が確認され、遺物としては横瓶と思われる須恵器片が出土した（第7図）。しかし、開発用地以西にその広がりをみせることと、通り町遺跡と同様に堆積土



第3図 通り町・旭可遺跡調査区設定図 (1:2500)

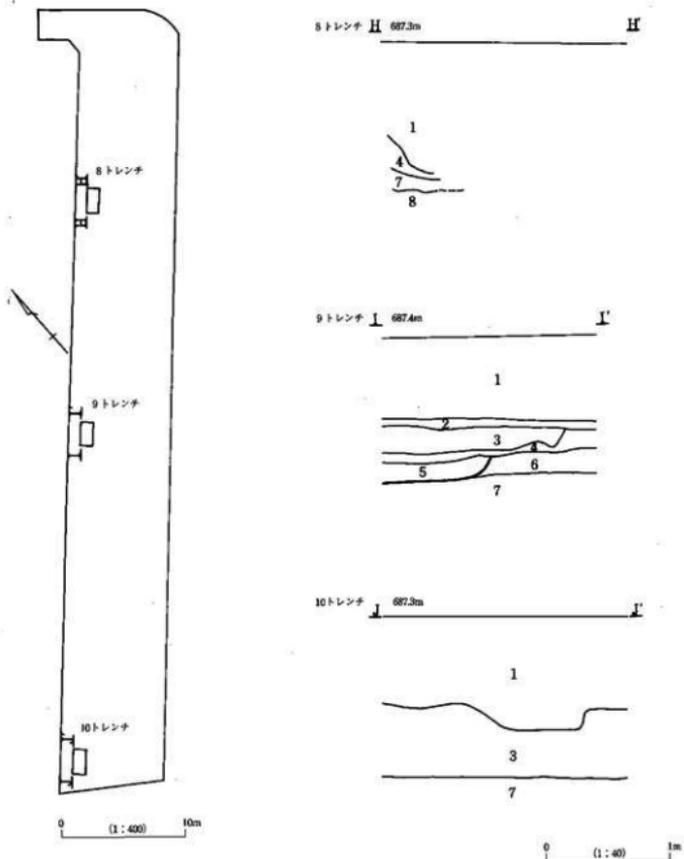


第4図 旭町遺跡調査区全体図・土層堆積図



- | | |
|--------------------|-------------------------------|
| 1層 75YR 5/1 (褐色) | アスファルト及び卵石等 |
| 2層 75YR 3/3 (暗褐色) | カクラン |
| 3層 75YR 6/1 (紫灰色) | コンクリート |
| 4層 75YR 4/2 (灰褐色) | 厚0.1~3cmの層を20%以上含む礫層 |
| 5層 75YR 3/3 (暗褐色) | 厚0.1~1cmの層を10%以上含む |
| 6層 75YR 5/8 (暗褐色) | 水の浸潤による酸化鉄を層的に含む |
| 7層 75YR 2/2 (黒褐色) | 炭化物を3%, 灰質を5%含む |
| 8層 75YR 4/5 (褐色) | 炭化物・焼土を1%, ローム粒子を20%含む 遺構埋土か? |
| 9層 75YR 4/6 (褐色) | ローム粒子を50%, 粗砂を3%含む 遺構埋土か? |
| 10層 75YR 3/2 (黒褐色) | 厚0.5~3cmの層を3%含む |
| 11層 75YR 6/8 (褐色) | 粗砂を50%以上含むローム層 |
| 12層 75YR 6/6 (褐色) | 酸化鉄を含む礫層 |

第5図 旭町遺跡調査区全体図・土層堆積図2

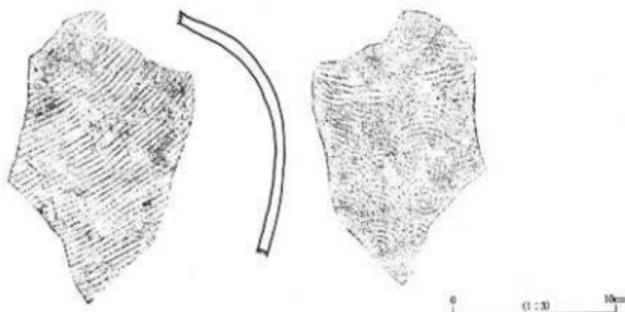


- 1層 75YR5/1 (暗灰色) アスファルト及び碎石等
- 2層 75YR2/1 (黒色) 炭化物を3%含む
- 3層 75YR2/3 (暗緑褐色) 径3-10cmの礫を3%含む
- 4層 75YR3/1 (黄褐色) 炭化物を3%含む
- 5層 75YR2/1 (黒色) 炭化物を3%、焼土を1%含む 遺構壁土か?
- 6層 75YR2/3 (暗褐色) 炭化物を3%、焼土を1%含む 遺構壁土か?
- 7層 85YR2/1 (黄褐色) 粘土を10%含む
- 8層 75YR2/1 (黒色) 泥炭層

第6図 通り町遺跡調査区全体図・土層堆積図

の崩落の危険性があるため、試掘による確認と記録のみで面的な発掘調査は行わないこととした（第5図）。

また、工事立ち会いは、昨年と同じく現国道箇所の路盤工事時に実施したが、やはり全域に共通して碎石による人為的堆積層が平均80～90cmの厚みで確認され、遺構・遺物は検出できなかった。



第7図 旭町遺跡出土遺物拓影図

7. まとめ

今回の通り町及び旭町の両遺跡の調査は、現国道を挟んで商店が建ち並び、時間帯に関係なく交通量が多く、また人の往来も最も多い場所の一つであるため、様々な厳しい条件下のものであった。特に、周辺住民や歩行者はもとより、調査に従事する作業員の安全を第一とする中での調査としては、必要最小限のものであったが、一様の結果を納めることができたと思う。現在本地域一帯は、様々な構造物があるため、あくまでも予測の域での遺跡の範囲と内容であったが、それを探る目的としては貴重な調査であったと言える。

平成3・4・8・9年に、マイタウンまつしま整備事業に伴って実施した仲町遺跡の緊急発掘調査では、縄文時代から中世に至るまでの遺構及び遺物の数々が出土し、既存の構造物直下にもまだ多くの埋蔵文化財が包蔵されていることから、その接点となる今回の両遺跡の調査箇所にも大きな期待があったが、前述のとおり、既に国道の開設時にその多くが失われしまったと思われ、まことに残念な事であった。しかし、現道西側の店舗を含む住宅の下には、まだ多くの文化財が眠っている可能性があることが、今回の調査によって得られた最も大きな成果であり、一帯における歴史と文化を研究する上で、一つの方向性を見出だしたと言えよう。

通り町遺跡調査区全景
(北方より)



通り町遺跡調査区全景
(南方より)



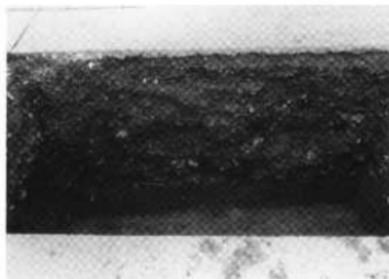
8 トレンチ掘削状況



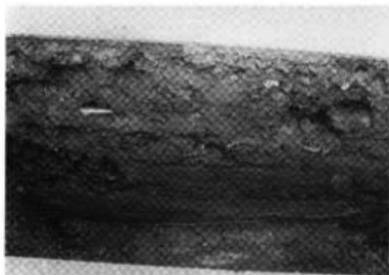
8 トレンチ土層堆積状況



9 トレンチ掘削状況



9 トレンチ土層堆積状況



10 トレンチ土層堆積状況



トレンチ調査風景



工事立ち合い風景



工事立ち合い調査状況



工事立ち合い土層堆積状況



工事立ち合い土層堆積状況

旭町遺跡調査区全景
(北方より)

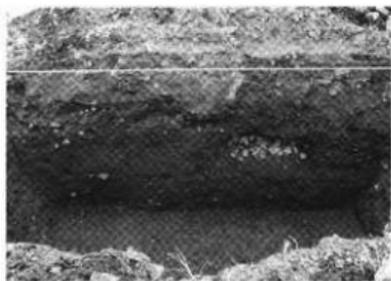


旭町遺跡調査区全景
(東方より)



トレンチ掘削状況

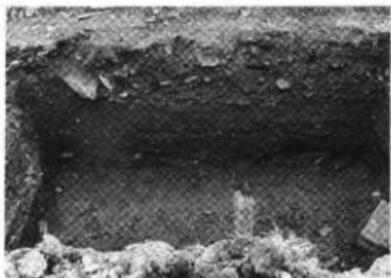




1 トレンチ掘削状況



2 トレンチ掘削状況



3 トレンチ掘削状況



4 トレンチ掘削状況



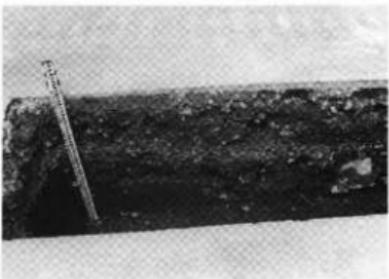
調査風景



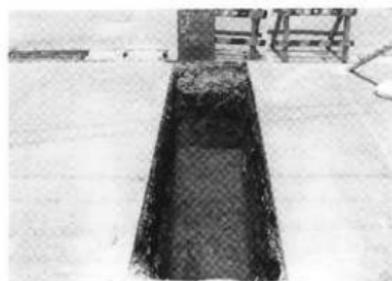
トレンチ調査風景



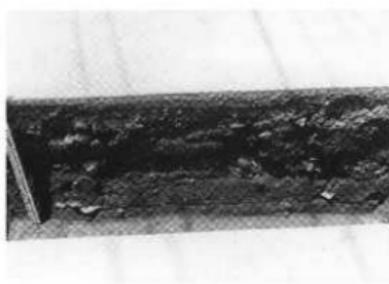
5 トレンチ掘削状況



6 トレンチ土層堆積状況



6 トレンチ掘削状況



6 トレンチ土層堆積状況



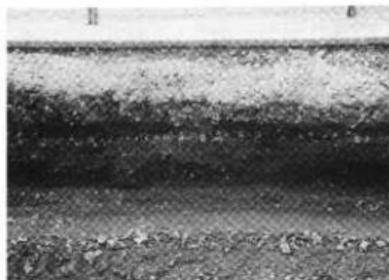
7 トレンチ掘削状況



7 トレンチ土層堆積状況



工事立ち合い風景



工事立ち合い土層堆積状況



工事立ち合い風景



工事立ち合い土層堆積状況

報告書抄録

| ふりがな | とおりちょういせき あさひまちいせき | | | | | | | |
|---------------|---|-------|-------------|-------------------|--------------------|--|--------------------------------|-----------------------|
| 書名 | 通り町遺跡 旭町遺跡 | | | | | | | |
| 副書名 | 平成10・11年度県単街路事業（笑輪町仲町）に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書 | | | | | | | |
| 巻次 | | | | | | | | |
| シリーズ名 | | | | | | | | |
| シリーズ番号 | 埋蔵文化財包蔵地緊急試験調査報告書 | | | | | | | |
| 編著者名 | 赤松 茂 根橋とし子 | | | | | | | |
| 編集機関 | 笑輪町教育委員会 | | | | | | | |
| 所在地 | 〒399-4601 長野県上伊那郡笑輪町大字中笑輪10,291番地 TEL 0265-(79)-3111ℙ | | | | | | | |
| 発行年月日 | 西暦2000年3月21日 | | | | | | | |
| ふりがな 所収遺跡名 | ふりがな 所在地 | コード | | 北緯 ° ' " | 東経 ° ' " | 調査期間 | 調査面積 ㎡ | 調査原因 |
| | | 市町村 | 遺跡番号 | | | | | |
| とおりちょう 通り町 | ながのけんかみい ながの 長野県上伊那郡 あさひまちおおあびなかみ 笑輪町大字中笑 輪8,425番地1他 | 20383 | 75 | 35度 54分 40秒 | 137度 59分 20秒 | 19980811 ～ 19990324 | 200㎡以 上（開発 総面積の 約10%） | 県単街路 事業（笑輪 町仲町） |
| あさひまち 旭町 | ながのけんかみい ながの 長野県上伊那郡 あさひまちおおあびなかみ 笑輪町大字中笑 輪8,427番地11他 | 20383 | 74 | | | 19990601 ～ 20000324 | 150㎡以 上（開発 総面積の 約10%） | |
| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代 | 主な遺構 | 主な遺物 | | 特記事項 | | |
| 通り町 | | 平安時代 | 住居址？ | 1基 | | 試験及び立ち会い 調査を実施し、遺跡 の広がり確認でき たが、現国道開設時 にその多くは消滅し たものと思われる。 | | |
| 旭町 | | 平安時代 | 住居址？ 土坑？ | 1基 1基 | | | | |

通り町遺跡 旭町遺跡

平成10・11年度県単街路事業（箕輪町仲町）
に伴う埋蔵文化財緊急発掘調査報告書

平成12年3月15日 印刷

平成12年3月21日 発行

発行所 長野県上伊那郡箕輪町教育委員会

印刷所 株式会社小松総合印刷
長野県伊那市大字美露10243-4